



*Best Synergy & Best Solution*

# 平成25年3月期第2四半期 決算説明会

平成24年11月12日

# 目次

## I. 平成25年3月期第2四半期決算の概要

I-1. 第2四半期決算の状況	1
I-2. セグメント別営業収益	2
I-3. セグメント別営業利益	3
I-4. 財政状態	4
I-5. キャッシュ・フローの状況	5

## II. 平成25年3月期見通し

II-1. 業績の通期見通し	6
II-2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し	7
II-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し	8
II-4. 主な設備投資案件	9

## III. 中期経営計画への取り組み

III-1. 主な経営戦略	10
III-2. 主な事業戦略	11
III-3. 主な事業戦略のイメージ	12
III-4. 海外事業 ～アジア・中東地域～	13・14
III-5. 海外事業 ～北米地域～	15・16
III-6. 国内物流事業	17・18
III-7. 不動産事業	19
III-8. 経営基盤の一層の強化	20

## 補足資料

1. 保管用倉庫面積・保管残高	21
2. トランクルーム期末保管残高	22
3. 港湾運送取扱量	23
4. 国際輸送取扱量	24
5. 賃貸ビル面積	25

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照下さい。本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

# **I .平成25年3月期第2四半期決算の概要**

---

# I-1. 第2四半期決算の状況

(単位:百万円)

決算期	平成24年3月期 第2四半期		平成25年3月期 第2四半期		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
営業収益	68,303	100.0%	76,869	100.0%	8,565	12.5%
営業利益	5,089	7.5%	5,062	6.6%	△26	△0.5%
経常利益	5,563	8.1%	5,544	7.2%	△19	△0.3%
四半期純利益	3,084	4.5%	3,189	4.1%	104	3.4%
1株当たり四半期 純利益(円)	17.30	-	17.89	-	-	-

営業収益	昨年9月に実施した米国・海運会社ウエストウッド SHIPPING ラインズ社の子会社化が寄与し、増収
営業利益	港湾運送や国際輸送等の取扱減少に加えて、前期に竣工した倉庫施設の減価償却費の計上等により、微減
経常利益	営業外損益が前年同期に比べ改善したものの、営業利益が減少したことから、微減
四半期純利益	特別損益が前年同期に比べ改善し、増益

# 1-2. セグメント別営業収益



Best Synergy & Best Solution

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期第2四半期	平成25年3月期第2四半期	増	減
1. 物流事業	63,675	61,320	△2,355	△3.7%
①倉庫収入	10,733	11,125	391	3.7%
②港湾運送収入	19,747	18,426	△1,320	△6.7%
③国際輸送収入	13,599	12,705	△894	△6.6%
④陸上運送ほか収入	19,595	19,063	△532	△2.7%
2. 海運事業	-	11,158	11,158	-
⑤海運事業収入	-	11,158	11,158	-
3. 不動産事業	4,835	4,906	70	1.5%
⑥不動産事業収入	4,835	4,906	70	1.5%
計	68,510	77,385	8,874	13.0%
セグメント間内部営業収益	△206	△515	△308	△149.3%
純営業収益	68,303	76,869	8,565	12.5%

①倉庫収入	貨物保管残高が堅調に推移したほか、前期に稼働したアーカイブ施設における文書等情報記録媒体の取扱いが寄与したことから、増収
②港湾運送収入	コンテナ荷捌が船会社の航路再編等があり取扱いが減少し、一般荷捌も輸出貨物を中心に低調な取扱いとなり、減収
③国際輸送収入	航空貨物やプロジェクト輸送の取扱いが低調であったほか、一貫輸送も日本・欧州間を中心に減少し、減収
④陸上運送ほか収入	物流施設賃貸収入は前年同期を上回ったものの、荷動きが低調であったことにより陸上運送収入が減少し、減収
⑤海運事業収入	昨年9月に実施した米国・海運会社ウエストウッド SHIPPING ラインズ社の子会社化が寄与し、純増
⑥不動産事業収入	一部の賃貸物件におけるテナントの新規入居が寄与し、増収

# I-3. セグメント別営業利益

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期 第2四半期	平成25年3月期 第2四半期	増 減	
			増	減
1. 物流事業	4,223	4,091	△132	△3.1%
2. 海運事業	—	103	103	—
3. 不動産事業	2,754	2,768	13	0.5%
計	6,978	6,963	△14	△0.2%
調整額	△1,888	△1,900	△11	△0.6%
純営業利益	5,089	5,062	△26	△0.5%

物流事業	倉庫収入の増収効果はあったものの輸出を中心とする貿易貨物の取扱いが低調であったことにより、前年同期比3.1%の減益
海運事業	海上運賃の下落及び船舶燃料油費価格の高騰に加え、のれん償却もあり、1億3百万円にとどまる
不動産事業	一部の賃貸物件におけるテナントの新規入居が寄与した一方、減価償却費等の増加もあり、微増

# I -4. 財政状態



(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期末	平成25年3月期 第2四半期末	増 減 額
総 資 産	245,092	235,045	△10,046
負 債	124,805	114,807	△9,997
純 資 産	120,287	120,238	△48
(うち少数株主持分)	(6,016)	(6,136)	120
自己資本比率	46.6%	48.5%	—
1株当たり純資産	640.31円	639.32円	△0.99円

総 資 産	借入金の返済及び船舶取得費用の支払等により「現金及び預金」が減少したほか、株式相場下落により「投資有価証券」が減少したため、前年度末比100億4千6百万円減少
負 債	「短期借入金」の返済及びその他有価証券評価差額に係る「繰延税金負債」の減少等により、前年度末比99億9千7百万円減少
純 資 産	四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したが、「その他有価証券評価差額金」の減少により、前年度末比4千8百万円減少

# I-5. キャッシュ・フローの状況



(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期 第2四半期	平成25年3月期 第2四半期	増 減 額
営業活動によるCF	5,351	6,980	1,629
投資活動によるCF	△5,432	△7,717	△2,284
財務活動によるCF	△3	△9,525	△9,522
現金及び現金同等物四半期末残高	15,295	12,646	△2,649

営業活動によるCF	税金等調整前四半期純利益及び減価償却による資金の留保等により、前年同期比16億2千9百万円上回る
投資活動によるCF	有形固定資産の取得による支出等により、前年同期比22億8千4百万円下回る
財務活動によるCF	借入金の返済及び期末配当金の支払等により、前年同期比95億2千2百万円下回る

## II.平成25年3月期見通し

---

## II-1. 業績の通期見通し

(単位:百万円)

決算期	平成24年3月期実績		平成25年3月期見通し		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	139,786	100.0%	155,000	100.0%	15,213	10.9%
営業利益	9,616	6.9%	10,300	6.6%	683	7.1%
経常利益	10,473	7.5%	11,200	7.2%	726	6.9%
当期純利益	6,511	4.7%	6,600	4.3%	88	1.4%
1株当たり当期 純利益(円)	36.51	-	37.01	-		

営業収益	<p>当第2四半期までの業績は概ね計画どおりに推移しているものの、物流事業で港湾運送や国際輸送を中心に貨物の取扱いが減少していることから、営業収益を本年5月10日に公表の通期連結業績予想から20億円減額。</p> <p>主に、ウエストウッド SHIPPING ラインズ社が通期で寄与することから、営業収益は前期比10.9%の増収、営業利益は同7.1%、経常利益は同6.9%、当期純利益は同1.4%の増益を予想。</p>
営業利益	
経常利益	
当期純利益	

## II-2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し

### 営業収益

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 見通し	増 減	
1. 物流事業	124,860	123,000	△1,860	△1.5%
2. 海運事業	5,889	23,400	17,510	297.3%
3. 不動産事業	9,768	9,600	△168	△1.7%
計	140,518	156,000	15,481	11.0%
セグメント間内部営業収益	△732	△1,000	△267	36.4%
純営業収益	139,786	155,000	15,213	10.9%

### 営業利益

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 見通し	増 減	
1. 物流事業	8,011	8,200	188	2.4%
2. 海運事業	△131	600	731	—
3. 不動産事業	5,456	5,300	△156	△2.9%
計	13,336	14,100	763	5.7%
調整額	△3,719	△3,800	△80	△2.2%
純営業利益	9,616	10,300	683	7.1%

## II-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し

### 設備投資額

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 見通し	平成25年3月期	増 減
			第2四半期実績	
1. 物流事業	5,196	3,450	2,073	△1,746
2. 海運事業	4,332	4,600	4,568	268
3. 不動産事業	1,753	3,750	1,428	1,997
計	11,281	11,800	8,070	519
4. 全社	692	800	461	108
連 結	11,975	12,600	8,531	625

### 減価償却費

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 見通し	平成25年3月期	増 減	
			第2四半期実績	絶対値	割合
1. 物流事業	3,783	3,950	1,890	167	4.4%
2. 海運事業	5	400	190	395	6,897.9%
3. 不動産事業	1,782	1,850	891	68	3.8%
計	5,571	6,200	2,972	630	11.3%
4. 全社	695	800	370	105	15.1%
連 結	6,267	7,000	3,342	733	11.7%

## II-4. 主な設備投資案件

区 分		平成25年3月期 第2四半期	平成25年3月期 (通期見通し)
物 流	神戸港国際流通センター（倉庫施設） 平成24年6月取得	9.1億円	9.1億円
	住友倉儲（中国）第二期倉庫建設工事 （中国・上海） 工期：平成23年11月～平成24年12月（予）	2.2億円	6.6億円
海 運	ガントリークレーン付オープンハッチ型多目的船 2隻購入	45.4億円	45.4億円
不 動 産	東京住友ツインビル中期保全工事（東京都中央区）	6.5億円	12.8億円
	淀屋橋オフィスビル建設工事（大阪市中央区）	4.4億円	16.2億円

## III. 中期経営計画への取り組み

---

## ソリューション志向の徹底

ワールドワイドに展開する当社グループの  
物流拠点と多様なサービスを効率的に組み合わせ、  
お客様のサプライチェーン最適化に貢献



## 営業地域の拡大

成長が見込まれる  
海外市場での営業拠点の展開と  
拡充に取り組み、事業を拡大

## 経営基盤の国際化

海外での事業規模の拡大を支えるため、  
人事・CSR・リスクマネジメント・  
財務経理等のグローバルな管理機能を強化

### 海外事業

#### アジア・中東地域

- ☑ 新たな拠点構築
- ☑ 拠点拡充と航空貨物取扱体制の整備・強化

#### 北米地域

- ☑ 海運事業(WSL)の体質強化
- ☑ WSLとアジア・北米子会社間での新サービス構築

### 国内物流事業

- ☑ 拠点の拡充
- ☑ 配送センター業務の取組み推進
- ☑ アーカイブ事業の拡充

### 不動産事業

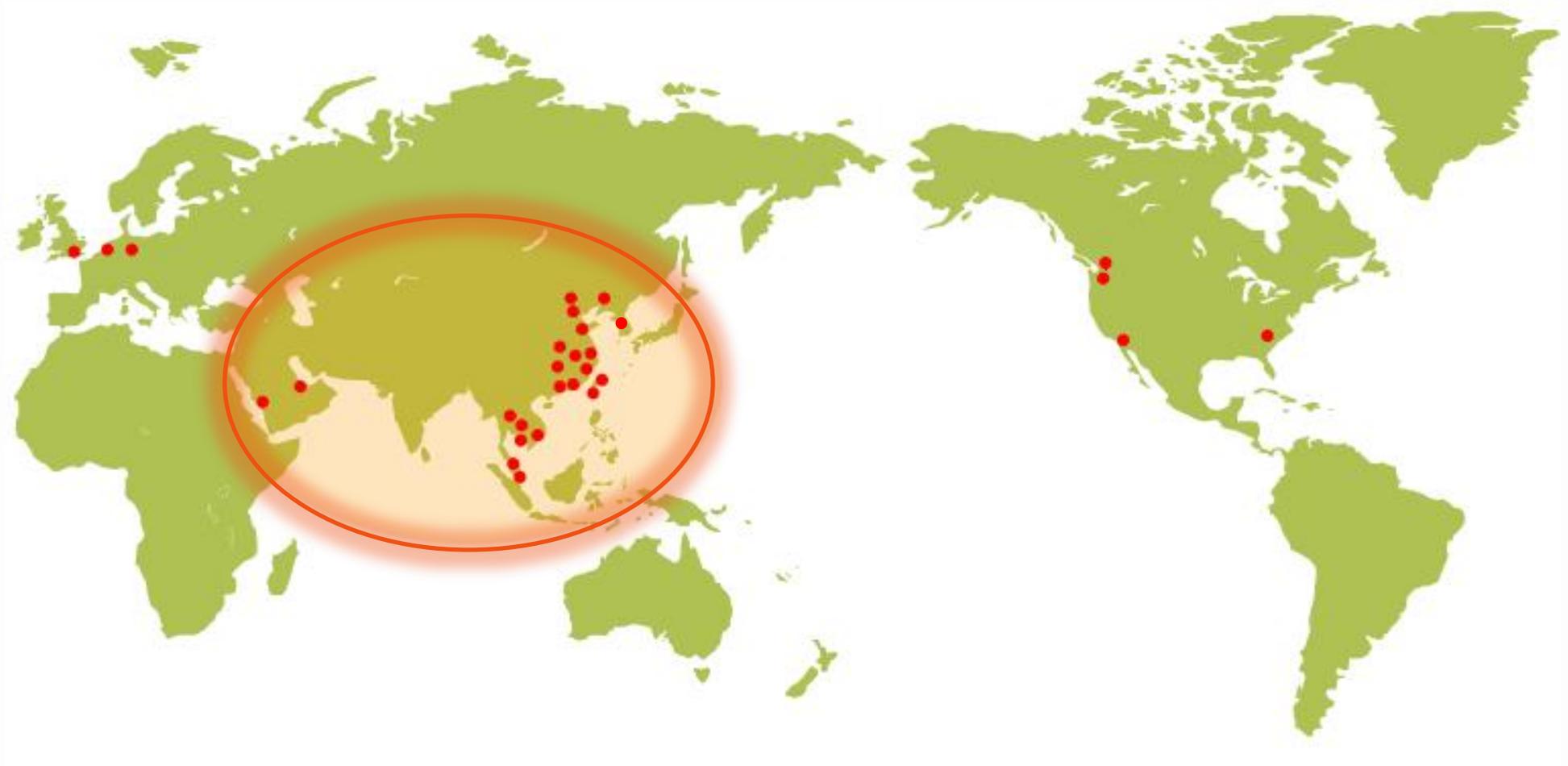
- ☑ 所有土地での新規施設建設
- ☑ 首都圏の不動産購入を含む事業基盤強化

## 経営基盤の一層の強化

事業領域の拡大に対応したグループ経営の推進、グローバル人材の育成及び組織力の向上等に取り組む

### III-3. 主な事業戦略のイメージ





## 中国

- ☑ 上海市錦江航運との合弁会社設立  
(H24年10月)  
新倉庫竣工 (H26年6月(予))  
延面積: 約39,000m<sup>2</sup>(約11,800坪)

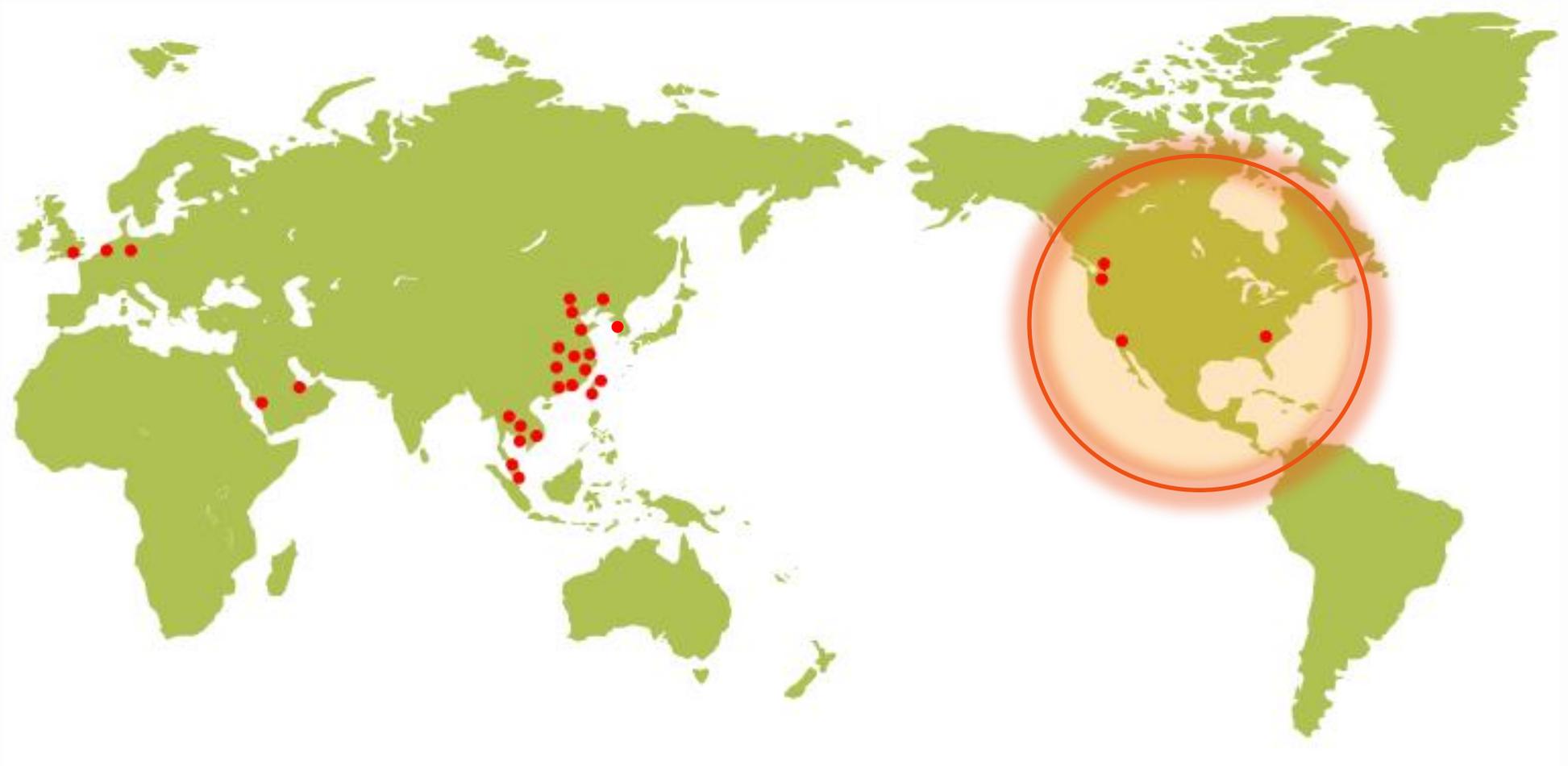


- ☑ 住友倉儲(中国)の2期倉庫建設  
延面積: 12,731m<sup>2</sup>(約3,851坪)  
1期倉庫との合計延面積:  
50,461m<sup>2</sup>(約15,263坪)

## サウジアラビア

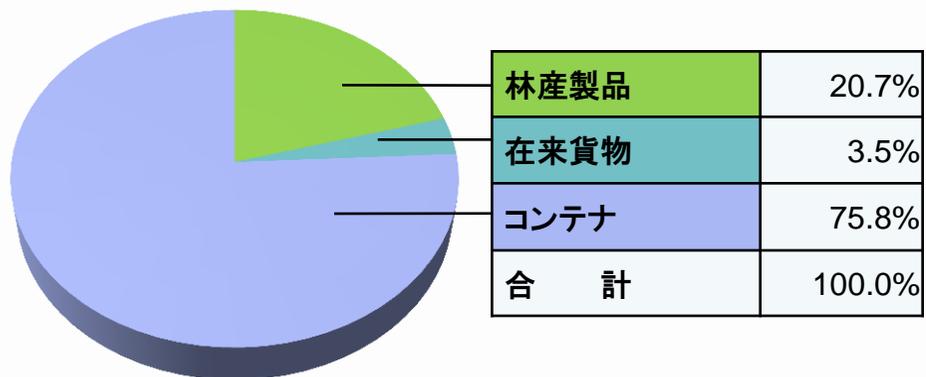
- ☑ RPL 新倉庫稼働  
延面積: 16,478m<sup>2</sup>(約4,984坪)  
(H24年11月竣工(予))



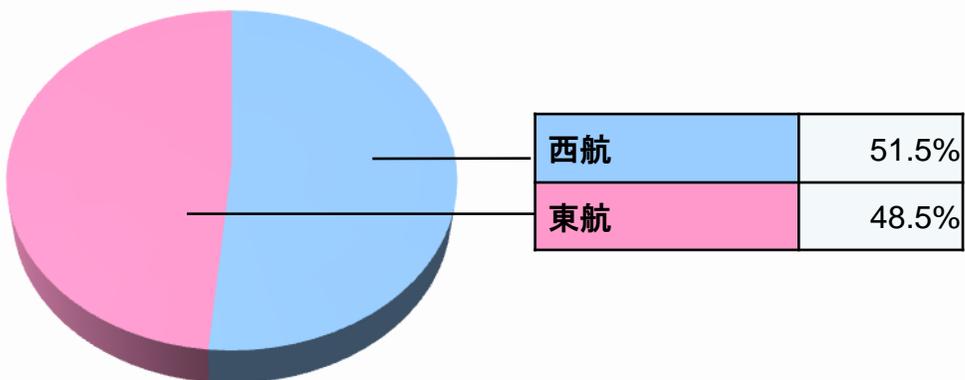


## WSLの状況分析

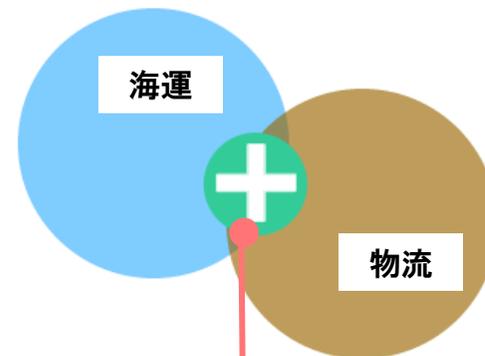
貨物別取扱いトン数の割合(H24年1～6月累計)



航路別取扱いトン数の割合(H24年1～6月累計)



## 海外事業の拡充

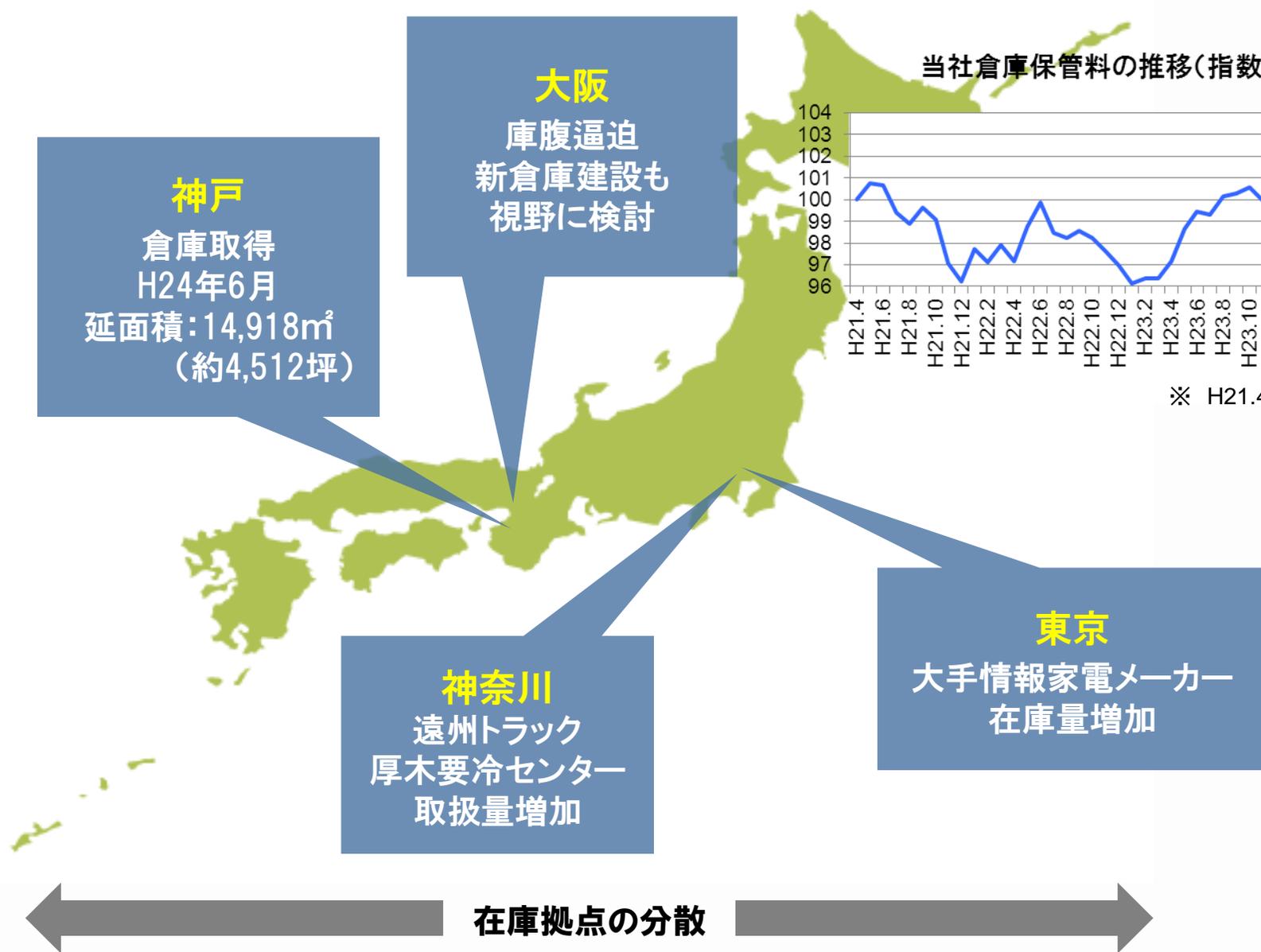


## WSLとのシナジー

- ☑ 海運事業(WSL)の体質強化
- ☑ WSLとアジア・北米子会社間での新サービス構築

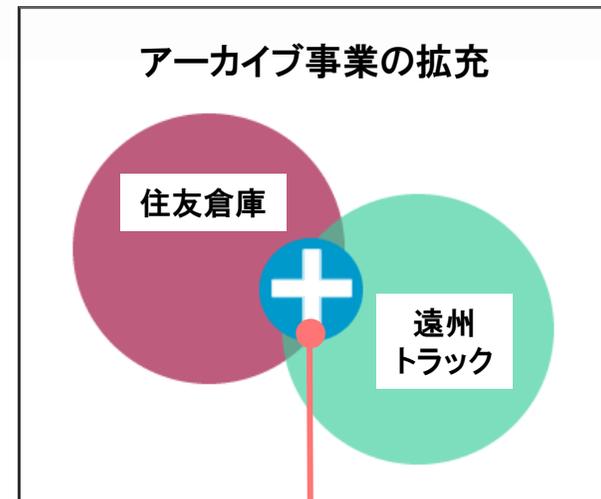
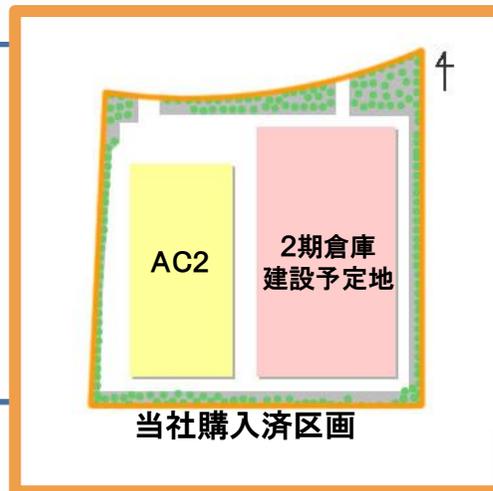
# III-6. 国内物流事業 ①

↑  
リスク回避の顕在化  
↓

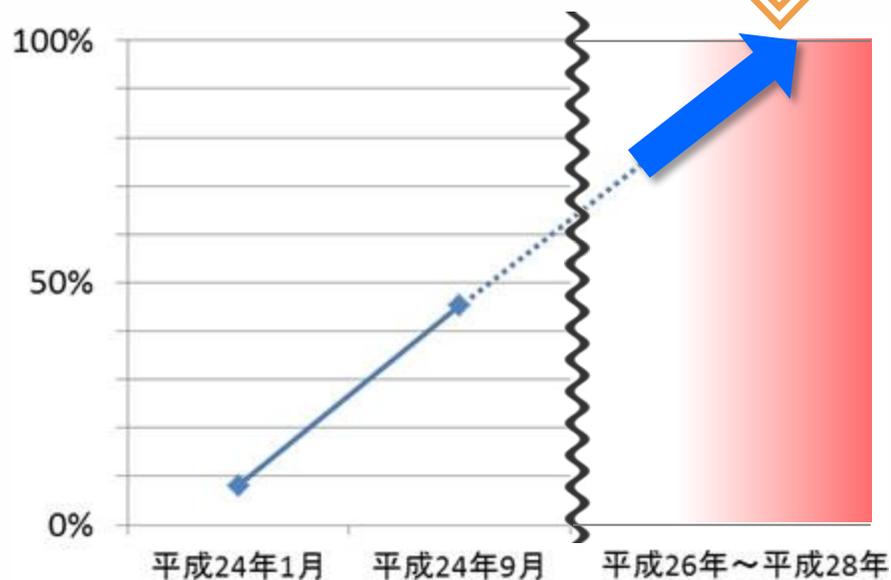


## アーカイブ事業の状況

隣接地の  
2期倉庫建設に向け  
着実に取扱量アップ

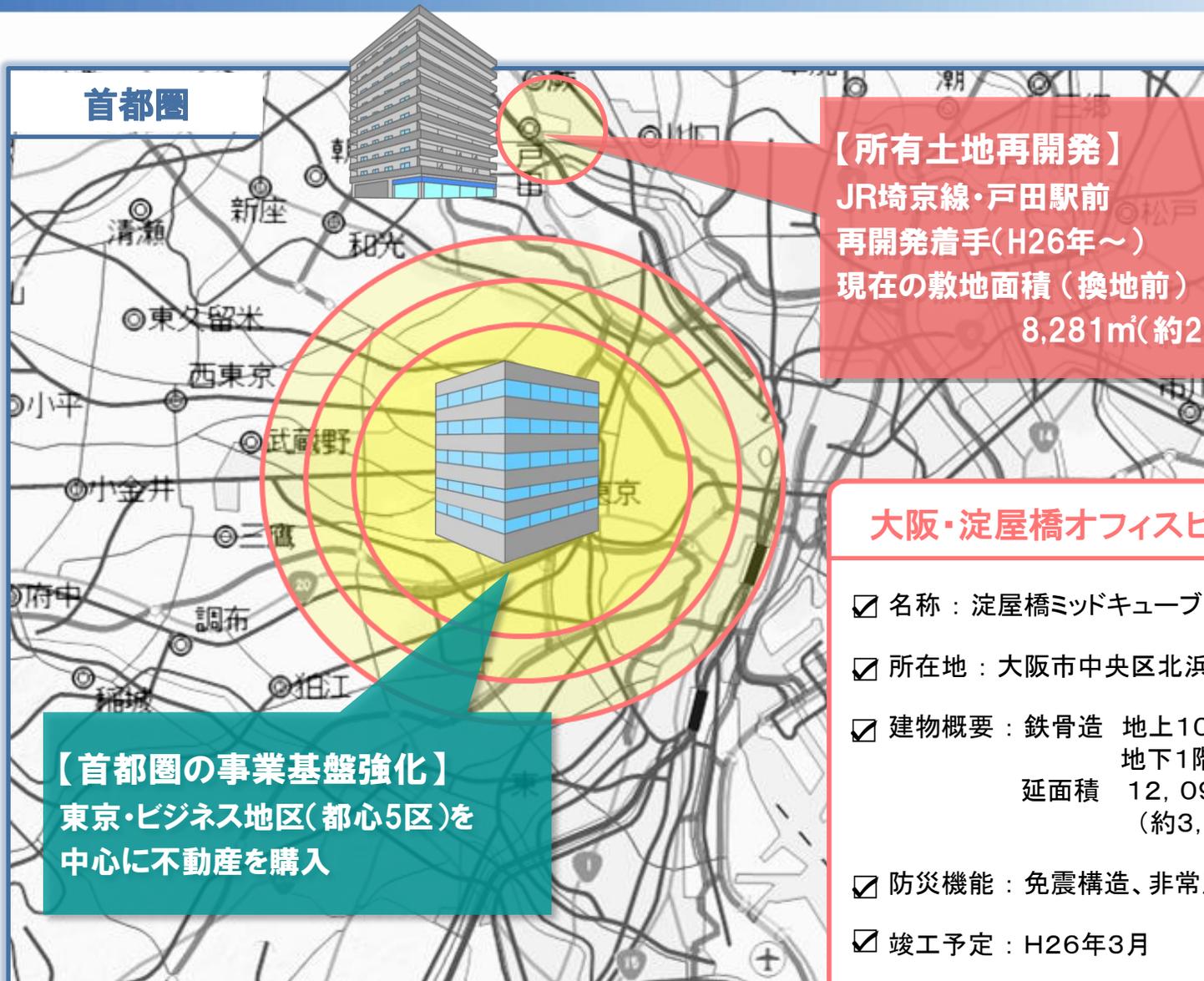


羽生アーカイブセンター第2センター(AC2)  
保管数量の推移



遠州トラック  
トランクルーム事業参入によるシナジー

- ☑ 静岡地区を中心に新規開拓
- ☑ 当社システムを活用したサービス提案
- ☑ 羽生AC2庫内作業実施
- ☑ 名古屋地区の保管業務



## 【所有土地再開発】

JR埼京線・戸田駅前  
再開発着手(H26年～)

現在の敷地面積(換地前)

8,281㎡(約2,500坪)

## 【首都圏の事業基盤強化】

東京・ビジネス地区(都心5区)を  
中心に不動産を購入

## 大阪・淀屋橋オフィスビル 着工

- ☑ 名称：淀屋橋ミッドキューブ
- ☑ 所在地：大阪府中央区北浜4丁目
- ☑ 建物概要：鉄骨造 地上10階  
地下1階  
延面積 12,098㎡  
(約3,660坪)
- ☑ 防災機能：免震構造、非常用発電機
- ☑ 竣工予定：H26年3月

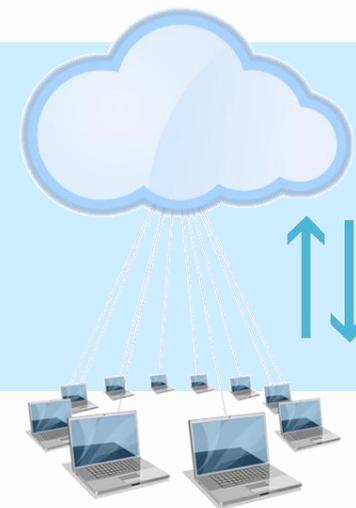


### 1 次期情報システムへの移行

第1ステップ 基幹システムの再構築

第2ステップ クラウド化によるリスク対策、オープン化によるサービスの多様化

(~H25年1月完了)



### 2 余剰資金の有効活用の強化

### 3 グループ内人材交流の促進

### 4 法令順守、リスク管理等内部統制管理の徹底

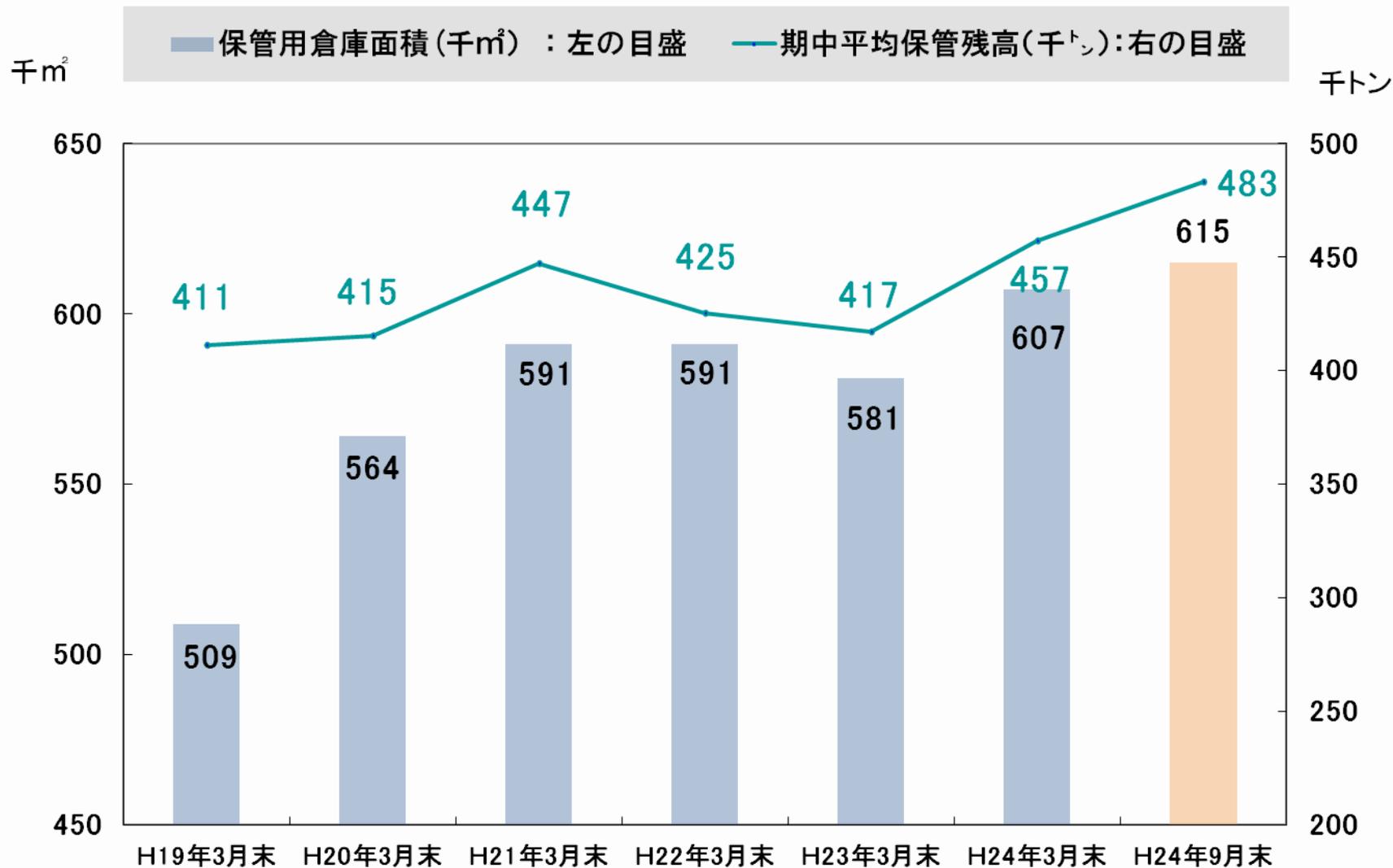
### 5 社会貢献活動などのCSRの取組み推進

### 6 ISO認証・AEO事業者認定等の取得検討

# 補 足 資 料

---

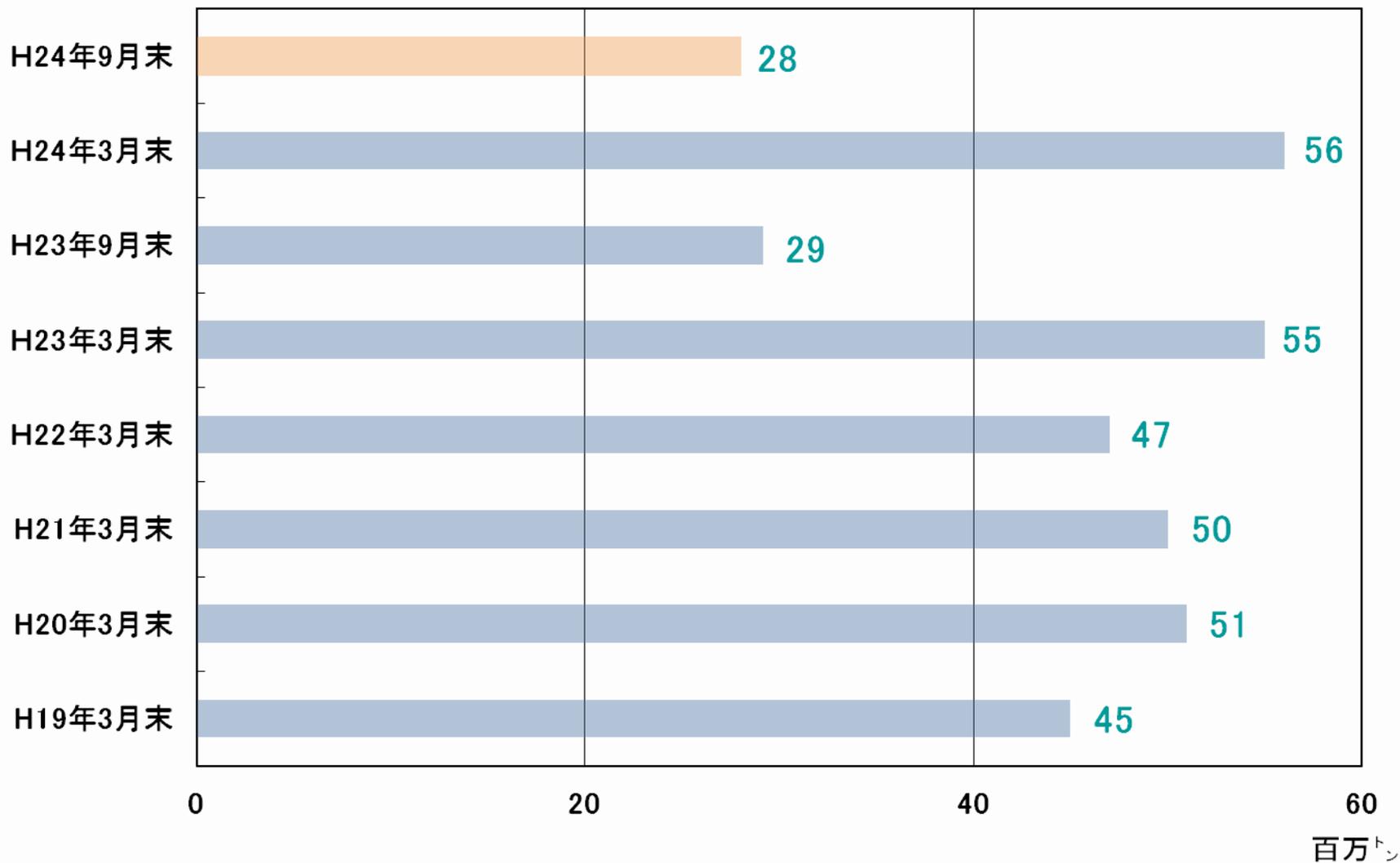
# 1. 保管用倉庫面積・保管残高



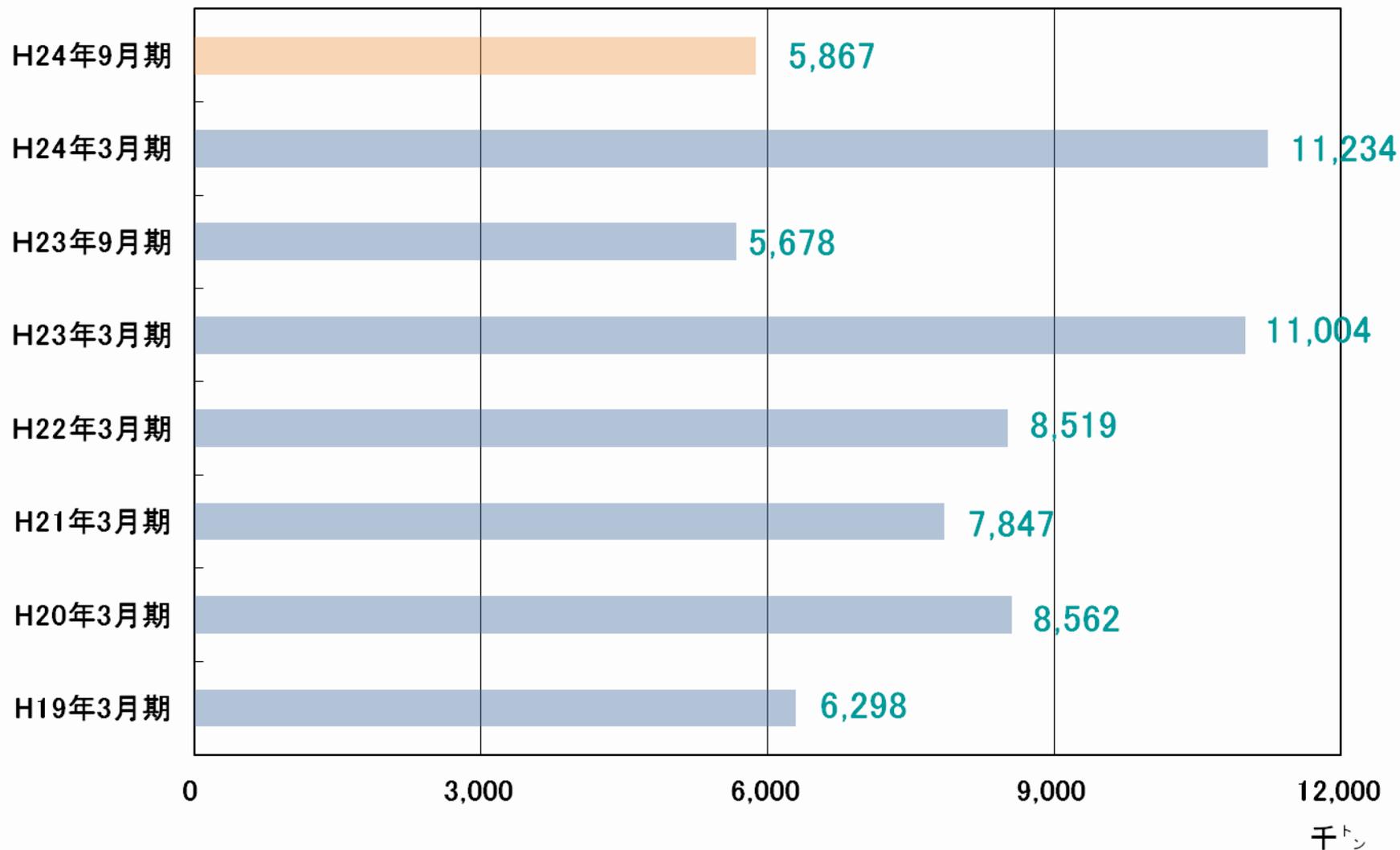
## 2. トランクルーム期末保管残高



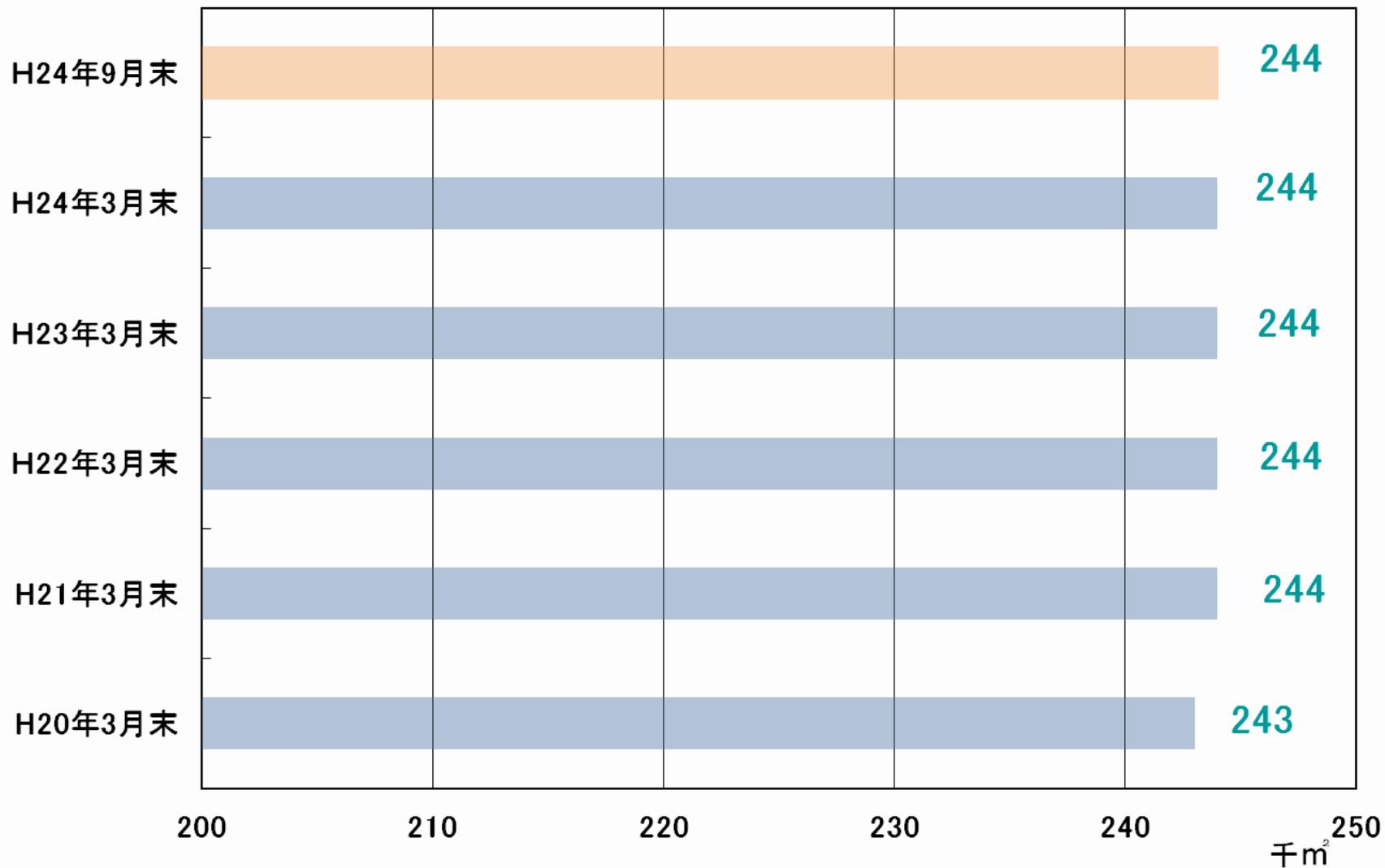
### 3. 港湾運送取扱量



## 4. 国際輸送取扱量



## 5. 賃貸ビル面積



**本日はありがとうございました。**



*Best Synergy & Best Solution*



< IRに関する連絡先 >

株式会社住友倉庫 事業推進部広報IR課  
〒550-0021 大阪市西区川口2-1-5  
TEL : 06-6581-1104 FAX : 06-6581-3870  
Mail : ir\_bx@sumitomo-soko.co.jp  
HP : <http://www.sumitomo-soko.co.jp/>